

広報資料

入場無料！先着順！
ラグビーの魅力を市民の皆様
へお伝えします。

平成29年4月20日
京都市文化市民局

担当：市民スポーツ振興室スポーツ企画担当
電話：366-0168

ラグビーワールドカップ2019TM日本大会プール組分け抽選会京都開催記念

「レジェンドたちによる対談」～「京都スポーツの殿堂」伝道事業～

この度、ラグビーワールドカップ2019TM日本大会プール組分け抽選会の京都開催を記念して、ラグビーレジェンドの坂田好弘氏、大畑大介氏、大西将太郎氏、ラグビージャーナリストの村上晃一氏による対談等を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

1 開催日時

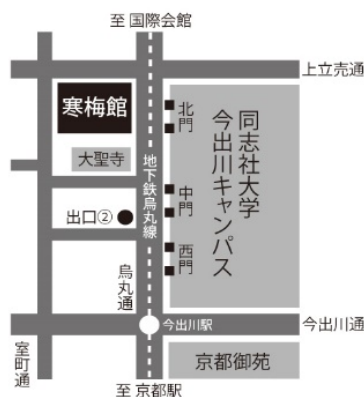
平成29年5月6日（土）13：00～

2 場 所

同志社大学室町キャンパス

寒梅館 ハーディホール（最大850人収容）

〔京都市上京区上立売通烏丸西入〕
〔地下鉄烏丸線今出川駅徒歩2分〕



3 スケジュール

12：00～

受付開始（入場無料・先着順）

13：00～13：55

出演者による対談（※ 出演者プロフィールは裏面）
「プール組分け抽選会」の見どころ など

14：05～15：45

パブリックビューイング～出演者によるライブ解説～

アジアラグビーチャンピオンシップ2017

「日本代表対香港代表」戦

4 その他

平成25年度に「京都スポーツの殿堂」入りしている坂田氏の「京都スポーツの殿堂」※伝道事業に位置付けて実施します。

※「京都スポーツの殿堂」

平成22年度に創設し、毎年度、京都にゆかりのあるトップアスリートの中から選考のうえ、殿堂入りとして表彰を行うとともに、伝道事業を行っていただくこととしています。

(参考) 出演者プロフィール

坂田好弘氏【パネリスト】



同志社大学ラグビー部出身。1968年日本代表としてオールブラックス・ジュニアを相手に4トライを挙げて歴史的勝利に貢献し、「FLYING WING SAKATA」として、世界にその名をとどろかせた。ニュージーランドへ留学中には同国カンタベリー州代表に選出される等国内外で活躍。

1975年に現役引退後、大阪体育大学ラグビー部監督に就任し、以後36年間にわたり指揮を執る。2012年に日本人史上初となる世界の「ラグビー殿堂」入り。2013年には「京都スポーツの殿堂」入り。

現在、日本ラグビーフットボール協会副会長、関西ラグビーフットボール協会会長、大阪体育大学名誉教授等を務める。

大畑大介氏【パネリスト】



京都産業大学ラグビー部出身。高校時代には高校日本代表に、大学時代からは日本代表選手に選出された。大学卒業後は神戸製鋼コベルコスティーラーズ、ノーザンサバーブス(豪)やモンフェラン(仏)でプレーし、ラグビーワールドカップにも2度(1999, 2003)の出場を果たす等国内外で活躍。また、テストマッチ(代表戦)通算69トライの世界最多記録を保持。2011年に現役引退。2016年には日本人史上2人目となる世界の「ラグビー殿堂」入り。

現在、追手門学院大学客員教授やラグビーワールドカップ2019アンバサダー等を務める。

大西将太郎氏【パネリスト】



同志社大学ラグビー部出身。高校時代には全国大会準優勝を経験し、高校日本代表に選出された。大学時代から日本代表に選出されており、2007年に出場したワールドカップカナダ戦では劇的な同点ゴールを決め、日本のワールドカップ連敗ストップの立役者となった。また、2007-2008シーズン時には、ベスト15、得点王、ベストキッカー賞の三冠受賞。2016年に現役引退。

現在、母校・同志社大学のバックスコーチに就任する一方で、よしもとクリエイティブ・エージェンシーとマネージメント契約を結ぶ等多方面で活躍中。

村上晃一氏【コーディネーター】



大阪体育大学ラグビー部出身。1986年度西日本学生代表として東西対抗に出場。1987年ベースボール・マガジン社入社、ラグビーマガジン編集部勤務し、同誌編集長、出版局を経て1998年退社。

現在は、フリーランスの編集者、記者として活動。ラグビーマガジン等にラグビーについて寄稿しており、J SPORTSのラグビー解説も1998年より継続中。また、1999年から2015年の5回のラグビーワールドカップで現地よりコメンテーターを務めた。

著書に「仲間を信じて」(岩波ジュニア新書)、「空飛ぶウイング」(洋泉社)等がある。